【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公開番号】特開2002-362704(P2002-362704A)
【公開日】平成14年12月18日(2002.12.18)
【出願番号】特願2001-208588(P2001-208588)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６５Ｆ　1/16
【ＦＩ】
　Ｂ６５Ｆ　1/16

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月20日(2004.12.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　立設された筒状固定枠体と、該固定枠体の両端を橋絡する支持軸と、該支持軸に両端が軸支され、前記固定枠体に対して開閉可能な筒状可動枠体と、前記支持軸に両端が軸支された回動可能な複数の骨材部と、前記可動枠体が前記固定枠体に対して略直角となる位置にて張架し、且つ前記固定枠体と前記可動枠体との間に前記支持軸を軸中心にして前記各骨材部を所定の角度で配置するように覆って取付けたネットとを備え、前記固定枠体に対して前記可動枠体を開いた際に、前記ネット内の前記固定枠体と前記各骨材部と前記可動枠体とで囲まれた空間内にごみを収納可能とするとともに、前記可動枠体を閉じた際に、前記固定枠体の内方に前記可動枠体および前記各骨材部を配置させて折り畳みされ、前記空間内に置かれた前記ごみを収集可能としたことを特徴とするごみ収納装置。
【請求項２】
前記ネットには、前記固定枠体の中央を構成する基部と前記骨材部との間に、上方に向いて開放された開口孔が形成され、さらに該開口孔を覆う蓋体ネットを設けて、該蓋体ネットの一端縁を前記基部に取付けし、その他端縁を自由端として、開閉可能としたことを特徴とする請求項１に記載のごみ収納装置。
【請求項３】
前記固定枠体の各端部は、台座部にそれぞれ取付け可能であるとともに、地面に穿設された孔部内に嵌入可能としたことを特徴とする請求項１または２に記載のごみ収納装置。